

| | |
|---|---|
| 研究課題名 | 脾損傷に対する経動脈的治療の合併症と関連する因子の検討 |
| 研究の意義・目的 | <p>大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターには、脾臓（ひぞう）の損傷により緊急で運ばれてくる患者様がいらっしゃいます。私たちは、これらの患者様の治療後に起きる合併症と関連する背景要因が何かを調べる研究を行っています。</p> <p>具体的には、患者様の年齢や性別、病院に到着した際の血圧や脈拍といった体の状態、血液検査の結果、怪我の重症度、脾臓損傷の程度、治療に使用した方法、他の臓器にも損傷があったかどうか、治療後に発生した合併症、退院時の転帰についてデータを収集し、どのような要素が患者様の治療結果に影響を与えるかを分析します。</p> <p>この研究を通じて、脾臓損傷の治療時に行われる血管を塞ぐ治療（経カテーテル塞栓術）の方法や程度を決定する際の重要な手がかりが得られる可能性があります。また、患者様ごとに最適な治療法を見つけ出すために必要な情報が得られると考えています。当院は24時間いつでも重症な患者様への治療が行える施設であり、これまでの治療実績から得られるデータを活用することで、学術的にも価値のある研究成果が期待されます。</p> |
| 研究を行う期間 | 研究機関の長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日 |
| 研究協力を お願いしたい方 (対象者) | 2015年1月～2024年12月の間に大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターに来院され、脾臓損傷と診断され経カテーテル治療が行われた患者様 |
| 協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目 | <p>診療の過程で得られた次の情報を本研究で使用させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・病院到着時の年齢・性別・病院到着時の体の状態（心拍数、血圧、ショック指数）・病院到着時の血液検査結果（血小板数、血液が固まる時間など）・どのような外傷を受けて脾臓が損傷したか・脾臓の損傷の程度・怪我の重症度スコア・最初に行った治療で永久的な血管塞栓物質を使用したかどうか・脾臓以外の臓器にも損傷があったかどうか、また他の臓器に対しても血管塞栓術を行ったかどうか・治療にかかった時間・治療後の合併症（血液の漏れ、膿がたまるなど）・退院時の状況（生存、死亡） |
| 試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称 | <p>この研究は大阪公立大学医学部附属病院のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。</p> <p>大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学 研究責任者 出口 亮</p> |

| | |
|----------------------|---|
| 個人情報の取り扱い | <p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータや採血検体は、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。</p> |
| 本研究の利益相反 | <p>本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p> |
| 研究に協力をしたくない場合 | <p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p> |
| 連絡先 | <p>大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR 学講座 (担当者氏名) 出口 亮 電話番号：(06) 6645-3831 メールアドレス：x21782s@omu.ac.jp</p> |